

会 報 第42号

福 事 研

令和3年(2021年)3月24日発行

吉備昌彦会長挨拶

日頃から、福事研活動にご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございます。

福事研は、会員の皆様の真摯なとりくみの積み重ねに支えられ、

おかげをもちまして、設立20周年を迎えることができました。令和2年2月には設立20周年記念研究大会を開催させていただき、本年度は、設立21年目として新たなるスタートを切るべく迎えた年度ではありましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、研究会活動にも大きな影響が出た1年となりました。

緊急事態宣言下の休校措置の中で新年度が始まり、先の見えない中で私たちはこれまで全く経験したことのない日々を送ってきました。各地において、子どもたちの安全を考えた様々ととりくみが展開され、学校が再開されていきましたが、体育大会や修学旅行など多くの行事が見直され、延期や開催規模の縮小、あるいは中止を余儀なくされました。

日常生活においても、新しい生活様式に基づき、三密回避のためのとりくみ、マスク着用、パーティション設置、検温・消毒等支出を伴う案件も多く、学校運営上もそして事務職員としても、気の抜けない、大変な日々が続いたことと思います。これは、危機に直面した私たちがいったいどのようにすれば良いのかを常に問われ続けた日々だったとも言えるのではないのでしょうか。そうした前例のない状況の中で、奮闘されてきた皆様の日々



福岡県小中特別支援学校事務職員研究会

事務局 嘉麻市立山田中学校
TEL 0948-52-0077
FAX 0948-52-0177
発行人 吉 備 昌 彦

のとりにくみに、心より敬意を表します。

本研究会におきましても、感染拡大防止の視点を最優先とし、自らの安全はもとより、私たちの職場である学校へ通う子どもたちの安全というものも考慮し、多くの参集する会議を中止とさせていただきます。全県で年に一度参集し議論を深めあう研究大会は中止せざるを得なくなったことをはじめ、評議員会や総会につきましても前例のないWeb表決で行うなど、すべてが試行錯誤の連続となりました。そのような状況下で、研究テーマを定めることもままならず、感染の終息を受け、本格的な研究活動を再開すべく時を待ちましたが、思いも叶わず、その結果、効果的な研究推進を図れなかったことを会長として非常に残念に感じていますし、併せてお詫び申し上げたいと思います。本年度の研究活動は、Web会議システム等の会議手法も確立していない中、開催できたわずか2回の研究部会と、メール等のやり取りを通し、今後の研究推進に向けて、どのような内容・形式で進めていくのが望ましいかという点について、ささやかながらとりくみの模索を続けてきました。

今後につきましても、新型コロナウイルス感染症について一定の落ち着きが見られたとしても、新しい生活様式に基づいた、これまでと異なる日常が予想されます。従来から当たり前のように開催してきた全県の会員が参集しての研究大会の開催も、果たして今後続けていけるのか非常に不透明です。ICTの活用等、様々な可能性を考慮し、全国公立小中学校事務職員研究会をはじめとした、各県事務研等のとりくみも参考にしつつ、柔軟に

対応していくことが必要だと考えています。

福事研としては、従来からの学校運営への参画に加え、様々な危機管理が問われる状況下における事務職員の果たすべき役割を探求しつつ、子どもたちが安心・安全な学校生活を送れるよう、専門性を活かしたとりくみを、引き続き探求・推進していく必要があると考えています。

今後とも本研究会は、会員の皆様に“学び”の場を提供し続け、福岡県の教育に貢献し、学校事務職員制度のますますの発展と子どもたちの豊かな育ちに貢献できるよう努力いたします。前例のない、試行錯誤を繰り返す手探りでの研究活動となりますが、引き続きご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

令和2年度 評議員会・総会

全世界で新型コロナウイルスが猛威を振っています。感染拡大を防ぐべく、様々な政策が実施されていますが、なかなか終息の目処は立っていません。国内では、新型コロナウイルス感染拡大により、4月初めに緊急事態宣言が出され、5月まで臨時休校が継続するとともに、6月以降は感染症拡大防止対策を取りながら教育活動が行われる状況となりました。私たちは先の見えない中で全く経験したことのない日々を送ってきています。

福事研におきましても、感染拡大防止の観点から、この3月以降の会議等についてはすべて中止となりました。評議員会、総会につきましてもwebで表決を求めるという前例のない形式で行われました。会則上はこのような事態は想定されておりませんが、今回の措置はやむを得ないと判断されたものです。

評議員会につきましては、会則11条5項評議員会の議決事項のうち、「(2)会長、副会長、監事時の推薦」のみが行われました。表決期間は6月15日から6月17日で、採決結果は、27支部(30支部中)が表決し、賛成27支部、反対0で役員推薦が認められました。

総会については、(1)令和元年度事業報告に関する件、(2)令和元年度決算報告に関する件、(3)令和元年度監査報告に関する件、(4)令和2年度役員承認に関する件、(5)令和2年度事業計画(案)に関する件、(6)令和2年度予算(案)に関する件について、7月21日から7月27日までの間で表決が行われました。表決結果は、有効表決数105名(総会代議員数121名)のうち、(1)～(4)は賛成105、反対0で、(5)(6)は賛成104、反対1という結果で過半数以上の賛成を得て議事は全て承認されました。

令和2年度 研究活動・諸会議について

コロナ禍での研究会活動になりましたが、これまで積み上げてきた研究について、その歩みを止めることなく、研究部を中心にできる方法・内容を検討しながら研究活動を進めることにしました。その中心となる研究部は、役員会と連携しながら、研究部内で可能な内容やスタイルについて模索し、今後につなげていくことを念頭に、今できることを開発・推進していこうというものです。そして、その研究部では、話し合い等はメール等のやり取りを通し行われ、事態の推移を見ながら、最初の緊急事態宣言の解除後の新型コロナウイルスへの感染者数が減少した時から2回の会合を持つことができました。

役員会等については、オンラインでの会議も検討されましたが、今年度は見送られることになりました。それは、それぞれの職場のネットワーク環境等の問題やオンライン会議で参加する場合のサービスの問題等があったためです。また、オンラインで協議をすること自体、時間的な限界もあり、参集して会議が行われていれば決めたり確認しあえたりすることも、それぞれの担当が自分で時間を見つけて日常的にやり取りをしながら作業を進めていかなければならないなどと、現状ではまだまだ解決しなければならないことが多いこともその理由でした。そこで、役員会等の諸会合が安全

に行える環境が整うまで実施しないで、協議・周知すべき案件は随時メール等にて提案・意見集約を行うことになりました。実際には、新型コロナウイルスへの感染者数が減少した11月に第1回の研究推進委員会が開催されました。そこでは、経過報告や今後の福事研活動、令和3年度の研究大会、役員選考等が議題として討議されました。

令和2年度 研究大会について

令和2年度の研究大会については、年度当初より8月下旬から9月上旬を目途に、県内外の状況を見ながら、例年の12月開催を先送りにすることや非集合型での開催等、開催の可否及び実施形態等の検討が行われました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症はその収束の兆しは見えず、8月末に研究大会の開催中止が決断されました。県内の事務職員が集まり交流できる貴重な機会ではありますが、感染拡大防止の視点を最優先とし、自らの安全はもとより、私たちの職場である学校へ通う子どもたちの安全も考慮されたものです。

第52回全国公立小中学校事務研究大会（岐阜大会）は、新型コロナウイルス感染症対策のため、参集して行う形式での全国研究大会は中止されました。しかし、全国研究大会は、今後の学校事務の方向性を確認するとともに、本部・支部が研究成果を発表し、共有できる貴重な機会であることから、オンラインによる形式での代替大会が実施されました。期日は令和3年1月4日から2月28日までで、参加費は無料ですが、会員IDとPWでログインするオンラインによる動画・資料配布でした。例年の分科会の報告は、提案原稿・補足資料・動画のweb掲載、また、「目指す子ども像を実現するカリキュラム・マネジメント」をテーマとした本部研究会討議とシンポジウムはライブ配信と録画配信という形式で行われ、それらは新たな研修会のあり方としての一面と捉えることができるものでした。

令和2年度(2020年度)役員

役職名	氏名	所属	
会長	きび まさひこ 吉備 昌彦	嘉麻市立山田中学校	
副会長	まはら しんじ 馬原 伸司	川崎市立川崎中学校	
副会長	ひぐち けいこ 樋口 桂子	八女市立福島中学校	
副会長	ひろた たかと 廣田 隆登	柳川市立柳河小学校	
副会長	はしもと きくよ 橋本 喜久代	福岡市立姪浜小学校	
副会長	もり さとし 森 聡	北九州市立門司総合特別支援学校	
事務局長	しばた まさはる 柴田 正治	大野城市立平野中学校	
事務局次長	かわの まさかず 河野 正和	みやこ町立豊津小学校	
事務局員	あみた まさし 網田 雅志	北九州市立小倉南特別支援学校	
事務局員	たけかわ あき 竹川 暁	北九州市立高須小学校	
事務局員	はたの やすの 波多野 康乃	芦屋町立芦屋東小学校	
事務局員	じくはら なるみ 竺原 奈留美	直方市立感田小学校	
事務局員	はなむら ゆうた 花村 雄大	大木町立大溝小学校	
事務局員	やまぐち のりこ 山口 紀子	八女市立長峰小学校	
監事	くわはら こうへい 桑原 幸平	篠栗町立篠栗小学校	
監事	もりなが りさ 森永 梨沙	久留米市立宮ノ陣中学校	
監事	うりゆう むねのり 瓜生 宗慶	大任町立今任小学校	
理事	京築地区	うつのみや たいち 宇都宮 太一	行橋市立菱島小学校
	北九州地区	いまやま ひろこ 今山 広子	鞍手町立鞍手中学校
	筑豊地区	たなか ようこ 田中 陽子	嘉麻市立牛隈小学校
	福岡地区	こんどう あや 近藤 綾	太宰府市立太宰府東中学校
	北筑後地区	ながた たかゆき 永田 尊之	朝倉市立立石小学校
	南筑後地区	さかい あき 酒井 安紀	大川市立田口小学校
	福岡市	よしだ さゆり 吉田 紗佑里	福岡市立高木小学校
	北九州市	ちくら ひろみ 千藏 ひろみ	北九州市立小倉北特別支援学校

令和2年度(2020年度)研究部員

地区名	氏名	所属
南筑後	樋口 桂子	八女市立 福島中学校
京 築	山本 将悟	行橋市立 仲津中学校
京 築	神崎 千春	豊前市立 八屋小学校
北九州	井上 香純	遠賀町立 遠賀南中学校
筑 豊	中壽賀 有香	飯塚市立 頼田小学校
筑 豊	原田 健吾	田川市立 伊田小学校
福 岡	石川 健一郎	須恵町立 須恵第一小学校
福 岡	木 村 淳	志免町立 志免中学校
福 岡	重田 実喜	古賀市立 古賀中学校
福 岡	播磨 秀俊	糸島市立 加布里小学校
福 岡	宗岡 彩貴	宗像市立 日の里西小学校
北筑後	高 倉 健	うきは市立 浮羽中学校
北筑後	江藤 郁美	うきは市立 吉井中学校
北筑後	上野 めぐみ	久留米市立 金島小学校
南筑後	千葉崎 路	みやま市立 清水小学校
南筑後	岩下 美由紀	筑後市立 羽犬塚小学校
南筑後	永田 成生	柳川市立 垂見小学校
南筑後	野田 正美	大牟田市立 銀水小学校
福 岡 市	末武 勝信	福岡市立 三宅中学校
北九州市	徳永 元喜	北九州市立 霧丘中学校

編集後記

新型コロナウイルス感染症への対応が長期にわたることが想定される中、学校では、感染症対策を講じつつ学校教育ならではの学びを大事にしながら教育活動が実践され、子どもたちの健やかな学びを最大限保障するための取組が進められているところです。このようなかつて経験したことがない状況において、子どもの学びを保障する教育環境整備等は学校事務をつかさどる事務職員の重要な役割となっており、会員のみなさんにも日々奮闘されていることと思います。

本来なら、このような状況にあるからこそ、広報部としては福事研の活動等を会員のみなさまに逐次報告すべきでしたが、あまりにも状況変化が激しく報告のタイミングを逸し、今回、1年間の活動をまとめて報告させていただきました。

このように福事研会報が年度末に1回しか発行できなかったことをお詫び申し上げ、編集後記といたします。

